

道路計画は予想される災害に対応しているか

災害に対応した道路網の整備に努めたい…町長

問

当町における防災対策の実効性についてば、どのように検証し町民に周知しているのか。また、道路計画は予想される災害に現実的に対応して計画されているのか。

答 山田町長

町道は、住民の生活に直結した身近な道路であり、これらも災害に対応した道路網の形成をはかり、国道、県道等の幹線道路への連絡がスムーズにされることが重要ですので、幹線としての機能を果たすべき町道と、日常の生活の

利便性に寄与する町道とに区分して整備の推進に努めています。

また、災害時における一人暮らしの高齢者や障害者等の生活道路の確保も重要なことから、生活道路現道舗装事業などにより、その整備の推進に努めて行きます。



現道舗装工事が施された切通農道

度周知徹底をはかる考えです。
なお、現時点において、当町における65歳以上の高齢者は、1,238人で、障害者は、149人です。

原発事故への対応は

万が一、原発や火災等で重大事故が発生した場合、その避難計画は周知されているのか。

また、災害時における高齢者・障害者等の把握はされているのか。

答 山田町長

避難の周知につきましては、行政区長会議において、実施計画を示し、集合場所、避難経路誘導について説明し、周知徹底をはかったところですが、今後、新計画が樹立され、整備が整えば、再



松本 浩司議員

自主防災組織の指導は

自主防災組織等への指導は行われているのか。

答 山田町長

地域住民が「自分たちの町は自分で守る」という連帯感に基づく組織として、はじめて「苗代替地区」を認定しました。町としては、自主防災組織の啓蒙活動とともに、新たな組織の設立に向けて、広域消防の協力のもと、助言指導にあたって行きます。

資源ごみの訪問回収はできないか

実情を踏まえて慎重に対処したい…町長

資源ごみを役場の集積所まで運ぶことができない高齢者に配慮して、資源ごみの訪問回収をしてはどうか。



役場の集積所に持ち込まれた資源ごみ

答 山田町長

資源ごみにつきましては、17年度より月1回を月2回に増やし、度環境美化推進に努めているところであり、集積場所については、役場の車庫を行い、持込を原則としていますが、高齢者への対応についても、今後、その実情を総合的に勘案しながら慎重に対処したいと考えています。

自主防災組織の支援は

地域住民が自主的につくる組織に対して、行政はどうのような支援、指導をするのですか。

答 山田町長

(松本浩司議員への答弁と同様のため省略)

答 山田町長

収入役は、町長の補佐役として、公金の管理者として、重要な役割を担ってきた役職だが、今後も当町において必要か。

答 山田町長

本年6月7日に公布されました「地方自治法の一部を改正する法律」に基づき、収入役制度について、重要な役割を担つてきました。町条例規則等についても、今後、所要の改正を行います。

地域住民の立場に立った生活道路の整備を

状況に合わせて総合的に判断したい…町長

多くの世帯が生活道路として利用しているにもかかわらず、幅員が狭い上に行き止まりになっている道路や、舗装もされず下水マンホールのふたの部分がデコボコ道の真ん中に飛び出していて危険な道路などは、利用者や緊急車両等の通行を考えて改良すべきではないか。

答 山田町長

生活道路として利用されている町道のうち、日々の生活に支障をきたす、あるいは防災上の観点から改良等が望まれている道路については、個々の道路ごとに路線の拡幅改良工事が可能なのか、地形的な制約や用地の取得、家屋の移転など、さまざまなケースを考えられますので、総合的な判断の基に計画したいと考えています。



行き止まり状態の生活道路（苗代替地区）

町の環境保全を

磐城森林管理署が行っている筹平資材運搬路新設工事は、樹齢数十年・数百年といった原生林が伐採され、谷を埋め立てながら、既に1キロメートル以上進んでいる。自然保護と水環境保全の観点から、町はどのような連絡を受け、どのように対処しているのか。

答 山田町長

この工事は、浅見川の水源涵養に寄与するための治山施設を整備するための工事で、5年ごとに策定される森林計画に基づく事業であり、広く住民に縦覧され、公開されているものです。工事は今年度で完了の見込みであり、工事中の土砂等の流出には細心の注意が払われています。

お待ちしています

「議会活動」または「議会だよ」について、皆様のご意見・ご感想をお寄せください。
TEL: 0240-127-14165
FAX: 0240-127-14167
インターネットメールアドレス:
ikai@town.hirono.fukushima.jp